

塩沢信用組合の「SDGs宣言」

■塩沢信用組合の「SDGs宣言」

2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国首脳に参加のもと、全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標」のこと、すべての国の社会課題を対象とした「17」のゴールと、その課題ごとに設定された達成基準である「169」のターゲットから構成される。このゴールとターゲットによって包括的な持続可能な社会の構築を目指すものである。

当組合は、この主旨に賛同し、2020年3月「SDGs」に取り組むことを宣言する。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 2. 飢餓をゼロに | 11. 住み続けられるまちづくりを |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 12. つくる責任つかう責任 |
| 4. 質の高い教育をみんなに | 13. 気候変動に具体的な対策を |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 6. 安全な水とトイレを世界中に | 15. 陸の豊かさを守ろう |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 8. 働きがいも経済成長も | 17. パートナリシップで目標を達成しよう |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | |



■塩沢信用組合の「SDGs宣言」

塩沢信用組合は2020年3月20日に、役職員全員で「SDGs宣言」を確認し
2020年3月24日に「理事会承認」による機関決定をした

全17項目のうち「8項目」を選定、「既実践している内容」を再確認し
新たに取組内容を発表した

■当組合の「既実践している内容」

1 貧困をなくそう



- ① 「魚沼の未来基金」 地元高校生対象の善意の寄付による返済不要の奨学金制度
- ② 「無料家計診断」「おまとめローン」「事後管理システム」

3 すべての人に健康と福祉を



- ③ 「いきいき健康定期預金」「運転免許返納者優遇定期預金」「高齢者安全見守り活動」
- ④ 「職場全面禁煙」、協会けんぽと連携した「職場健康おすすめプラン実践」
- ⑤ 「健康経営優良法人」認定事業所（2019年度と2020年度に2年継続認定）

4 質の高い教育を
みんなに



- ⑥ 「こども金銭教育」 (小学校対象) 「若者カード教育」 (中高校対象) 実施
- ⑦ 「エルダー委員会設置」 「職員派遣研修の充実」 「短期と長期の研修体系構築」

5 ジェンダー平等を
実現しよう



- ⑧ 「ジェネレーショントーキング実施」 「ハラス委員会設置」

8 働きがいも
経済成長も



- ⑨ 「360度評価」 「ノルマ廃止」 「1on1ミーティング」 「70歳雇用延長」
休み易い職場

11 住み続けられる
まちづくりを



- ⑩ 「地場産業振興の住まいフェス」 「雇用拡大の就職応援フェア」 「自治体との連携」

13 気候変動に
具体的な対策を



- ⑪ 「地酒で乾杯、追い水推奨、食べ残しゼロ」 宣言と「自前のコースター」 作成
- ⑫ 「エコ通帳」 環境に優しい素材のエコクロス使用のカーボンオフセット通帳
- ⑬ 「マイ箸」 「マイスリッパ」 「エコバック」 を役職員全員が携帯

■塩沢信用組合「SDGs宣言」の具体的な取組内容

2020年度「事業計画」に基づき「SDGsプロジェクト」を組織、自部店を代表し、なお、組合を代表して、その任務を果たすべく活動するメンバーであり、そのメンバーを中心に具体的に展開していく予定である

○「SDGsプロジェクト」メンバー〈全6名〉



*本部・総務係長
「吉田 絵美」

*本店・営業主任
「若井 杏葉」

*石打支店・営業係
「佐藤 温子」

*五日町支店・営業係長
「木村 真智子」

*津南支店・営業主任
「中島 京」

*小出郷支店・営業主任
「岸野 真弓」

■当組合の「具体的な取組内容」*新たに取組む内容

5 ジェンダー平等を
実現しよう



- ①「職場のダイバーシティ(人材の多様性)の浸透」(差別や偏見の防止)
- ②「小出郷文化会館のマタニティ無料化」への支援
- ③「包摂型未来社会」、「多種多様な価値観」、「人権の尊重」、「持続可能な開発目標」

8 働きがいの
経済成長も



- ④「魚沼ITラボ構想」への支援

11 住み続けられる
まちづくりを



- ⑤「若者の定住と雇用の場の確保」(定着率の向上)(100社100人の雇用増加)
- ⑥「地場の産業振興」(建築業による産業振興)(提携先の事業者同士の連合化)
- ⑦「新潟県財政再生のための支援」(県財政収入増加策の実践)
- ⑧「地元自治体と地元貢献団体」への支援

13 気候変動に
具体的な対策を



- ⑨「自前のコースター」を米プラで製作し地元の飲食店及び全国の信用組合へ普及
- ⑩「米袋のエコバック」「県産杉のマイ箸」「米プラのSDGsバッチ」をセットで普及
- ⑪「小水力発電事業」への支援、「レジ袋有料化」への対応

17 パートナシップで
目標を達成しよう



- ⑫「持続可能な開発目標への取組と対象企業への支援」(SDGs対応融資)
- ⑬「災害等の発生に備えることとその対応への支援」(BCP対応融資)
- ⑭「新型コロナウイルス感染症」対策、地域全体での一致協力体制の構築